

会 議 名	第3回酒々井町景観計画策定委員会
開 催 日 時	平成27年7月15日(水) 午後2時～4時15分
開 催 場 所	酒々井町 中央公民館 1階 会議室
出 席 者	出席者 策定委員 西口委員長・山本副委員長・服部委員・重定委員・犬島委員 鈴木委員・中財委員 欠 席 者 相京委員・吉岡委員 酒々井町 小坂町長 事 務 局 松本課長・板垣副課長・山口主幹・岡田副主査・濱上副主査 コンサル 清水・太田
会 議 内 容	<p>1. 開 会</p> <p>・事務局より開会及び資料の確認</p> <p>2. 町長挨拶</p> <p>第3回の酒々井町景観計画策定委員会の開催に当たりまして、ご挨拶致申し上げます。お忙しい中本策定委員会に出席頂きありがとうございます。現在の策定状況につきましては、景観形成の理念、目標等を定め、景観計画区域、方針の策定を定めているところです。景観形成上の課題などを踏まえ、将来の景観像を想定しつつ、景観の保持・増進を図る区域を設定し、適切な行為の制限を定めるとともに、町民の生活に身近な景観の保全・育成を図り、町民が住みやすい町へ意向を踏まえた議論をお願いすると共に、心のふるさとの原風景や物語を重厚な意向を受け継いで行く事を考えおります。また、策定委員の方々の忌憚のないご意見をお願いします。</p> <p>3. 委員長挨拶</p> <p>第3回策定委員会を開催したいと思います。</p> <p>4. 議 事</p> <p>・西口委員長が議事を進行する。</p> <p>(1) 景観形成の理念、目標等について</p> <p>・事務局より景観理念、目標等について説明</p> <p>(委員長) 景観理念の目標等は、ワークショップにて住民の方々から出てきた案を元に事務局で出してきた案です。みなさんの意見を頂きたいので、A委員からお願いします。</p> <p>(A委員) ワークショップに出席して酒々井町^{かた}の方は歴史・自然を非常に愛していることが分かった。酒々井町の自然を残せるものは残していきたい。町のゾーニングについて始めて知り、関心を示した。本佐倉城址は残す必要がある。酒々井町には、千葉氏の物語ができるような千葉氏の遺産が沢山残ってい</p>

る。

(B 委員) 酒々井町は、自然と千葉氏の思いの自然を積極的な広報活動が必要であると考える。

(委員長) 酒々井町は、自然が美しい町ではあるがどこにでもある自然である。特色を出す必要があるのではないか。景観を通して住みよい町になって、町が発展することが一番良いと考えている。歴史といっても自然といっても全国的なものなのかどうか。

(A 委員) 歴史や自然を意識した酒々井町のまちづくりが必要で心のよりどころとして感じて欲しい。

(C 委員) あらためて、資料 5 の図を拝見すると、自然・歴史やアウトレット等色々なものが、ギュッと凝縮した町だと思う。三世代それぞれが守ってきた景観とこれから育てて生きたい景観があると思う。みんなが主役であれば、ボランティアの方たちを募って、景観づくりに携わっていったらと思う。この景観計画があるということアピールする必要がある。コンパクトな町の酒々井町の資源を発信する必要がある。

(D 委員) 私たちが自慢できる自然が沢山あることを感じた、先日ホテルを見に行ってきた。沢山のホテルがある、特にホテルの里に数多く計画的に整備して守られている。A さんのようなボランティア活動を継続して進めることが非常に大切と思われる。また、墨のとあるところの夜空が満天の星空のように数か所多く見える。ものを守るということは難しい面がある。この図には描いてないが、そのうち資源になれば良いと思う。中央台から見る JR 下台のトンネル 2 本（成田線）には、昔使われていたまぼろしの 3 本目のトンネルが高さの関係で埋められている。そのトンネルを利用した観光やワインを貯蔵する等埋もれたトンネルがうまく利用することを前から思っていた。酒々井町にも埋もれた宝物を発掘してほしい。

(E 委員) みんなが主役というからには、町が全体的にこうなってほしいという表現が必要である。現在、エコミュージアム構想が進められている。景観と非常につながりがあると感じている。特に景観での行為の制限や前回は指摘があったヤードの問題とか、看板の問題等、行為の制限とまちづくりをどのように両立するかが大切である。

(委員長) 共通のコンセプトが必要であり、この夏学会でポーランドに行ってきたが、東ヨーロッパなどでは、まちづくりの統一感がある。日本は清潔できれいだ街がバラバラな感じが見られる。

(E 委員) 今のまちの方向性は良いが、何か若者に浸透させる方法はないものか。

(F 委員) 町とは、オンリーワンのものが必要で、どこでもあるようなものでは、何も無いのと同じである。しかし酒々井町には、歴史が沢山あるが、その歴史を住んでいる方が理解していないのに、外部の方が勉強しに来るかというとそうはならない。建設的なことを言うと最初のスローガンは強いものを語る

必要がある。特に未来を感じさせるものを描いていない。例を示すとワークショップは現状を良くする話の場ではなく、ワークショップは目に見えて未来を感じさせるものを描いてもらい学習していくところ。エコミュージアムの構想等は、素晴らしいことで河川と道路を中心として景観整備づくりが売りになるのではないかと考えている。道を中心とした景観づくりが出来れば分かりやすいし、エコミュージアムも分かりやすい。歴史の街道を中心にしたエコツーリズムや歴史の食物等があり、更に重ねていく等のアイデアが必要である。必ず強いスローガンには未来がある。どこに出しても恥ずかしくないスローガンが必要で、町民それぞれがもうかる仕組みを持った景観づくりが必要となってくる。

(町 長) エコミュージアム構想は、酒々井町をフィールドにして、現在19ヶ所を2年掛けて計画途中である。来年、景観計画とつぎ合わせていきたい。この計画はまちづくり課サイドだけでまとめている。他の計画との整合性を持たせた計画としたい。現在、アウトレット周辺も含めた網羅性のある計画や酒々井のハーブガーデンの改装などおしゃれなかんじの街づくりを進めたい。更に、生涯学習課の歴史的な構想もあり、今後、取り入れていく。

(2) 景観計画の区域、方針、行為の制限等について

・事務局より景観形成の基本方針案について説明

(A 委員) 県道宗吾酒々井線の道路からの見晴らしが素晴らしいが、そこに建物等が建たないような景観にするには、何か拘束できることがあるのか無いのか教えて欲しい。

(事務局) 景観の拘束力については、景観形成のための行為の制限の中で、景観形成重点地区の候補地に定量的な行為の制限をかけることが可能となります。

(F 委員) 景観形成重点地区とする場合には、住民の合意形成が必要となり、景観形成基準を定めなければならない。建築基準法等ではないので拘束力がない。逆に言うとスローガンに影響して来る。もっと町を良くする強い意志を持つ必要がある。景観形成重点地区はスローガンから選ばれているのかそうともいえない。

(委員長) 景観形成重点地区の4つの候補地が酒々井の何なのか。特に「歴史文化の景観軸」の旧酒々井宿は、酒々井町の中心地であった場所である。地図を見ると道祖神が結構ある。新しい道祖神を作ってみるのも良いのでは。また、下り松の茶屋跡は復活しても良いのではないかと。

(A 委員) 酒々井には、双体道祖神等珍しい歴史的な資源が沢山あるが、昔からの文献を通して分からない歴史もある。

(F 委員) 捏造ではないが、一つずつではなく、全体の物語を作っていないとわからない。景観計画の中に物語性を入れて道を作ってサイクリングコース等で道

祖神めぐりが行える工夫のアイデアが必要である。

(委員長) 酒々井町は歩いて回れる広さである。ルートを巡っていけば何かがある。昔は茶屋等があったが今は何も無い。

(町長) 旧宿場町の下り松のところに茶屋跡の土地が売りに出されている。歌川広重が書いた絵の場所がその茶屋跡であり土地を抑えられれば、昔の絵を再現した物語を造って行きたい。そのためにも、茶屋の再現をしていきたい。

(F委員) 酒々井町は歴史の香りする町である。テレビで拝見したが何も無いところにバーチャルメガネを掛けると昔の風景が見えるようなシステムを紹介していた。

(町長) 茶屋の風景は、昔の絵のままの風景がそのまま見える場所にある。

(委員長) 道祖神で酒々井の物語りが作られるのではないか。一つの案として新しい道祖神を作り祀られる場所を増やしていくとも良いと思う。

(町長) 町内の道祖神には地域ごとの物語りがある。双体道祖神は町内に7ヶ所点在している。

(A委員) 町内にある道祖神は銚子砂岩で作成されており、経年変化により、形が崩れやすい。昔は成田街道であったがただ通るのだけではなく、物語性を造り道祖神を巡っていくと子育てに良い等PRしたい。道祖神を巡っていくと婚活に良い・子宝に恵まれる等があると面白いのではないか。

(B委員) 道路工事が終わった県道宗吾酒々井線の大仏頂寺あたりからの眺望が良い所があるが、竹林が放置されて単調な景観に変わっていく。眺望が良い場所では、地主さん等の協力により、良い景観が甦ってきてほしい。

(C委員) 道祖神にはそれぞれの物語が必要である。茶屋に語りべさんとかが興味をもって担当して頂ければと思います。また、酒々井町名産のもの(酒・水、梅等)を販売していければよいと考える。若い女性の人はお茶屋をレトロな感じに造ったものが好きで、酒々井町に集客してくれれば、道祖神めぐり等で婚活・縁結び等で酒々井町に住んでくれたら良いのではないか。

(A委員) 酒々井宿は、街道で一番人気のしがらき茶屋があれば、団子屋もあった、昔の本の中にも掲載されている。

(F委員) 歴史的な資源があり、街道沿いを歩いて回遊性があれば、集客は上がってくる。

(町長) 酒々井町は坂が多いため、現在民間の方で観光用にレンタサイクルの事業を始めようとしている方がいる。その人達と協同すれば、需要があるのではと考えている。また、歩くルートは、公民館活動において作成されたグループが10コース位の散策ルートを設定している。

(D委員) 7つの双体道祖神が酒々井町にはあり、地域毎に大切にしている。そこに新しい道祖神を造るのは、個人的にはどうかなと思っている。

(A委員) 婚活の中で双体道祖神を造って奉納するとかが可能ではないか。

(D委員) 婚活で双体道祖神の絵馬等を奉納する等は可能と思う。

(E 委員) 若い人は、道祖神を知らない、その歴史を知ればすごいと思う。お茶屋にしても先程出た、昔の酒々井町を復活させ、今と昔を同時にバーチャルで見ることができれば面白い。昔は小学校で歴史の授業があったが、その記憶が抜けている。子どもや子育て世代に知識と情報が与えることができる。

(町 長) 八坂神社を始め旧市街地には、様々な物語がある。歴史的な資料が沢山ある。個性豊かな人々が多く、酒々井宿のまち割りも現存している。宿場町の再生を地方創生でも行うのも一つの方法と思っている。

(委員長) 古い宿場町と新しいアウトレットをレンタサイクルで連携を作り上げることができる。

(町 長) アウトレットの脇にスーパー銭湯や野菜の加工工場・レストランやコミュニティができる空間が来年オープンする。また、ハーブガーデンもリニューアルする計画もあり、ちびっ子天国もあるなど関連性が広がってくる。ついては農家等も儲かってくるのではないかと。

(F 委員) 最終的な大きな計画と戦略があり、戦略を面白くする何らかの形で仕組みを組み入れる景観計画とする必要がある。その上で逆算するとタイトルの基本方針において未来のために原風景を再現する必要がある。箱物ではないが箱物となりやすい茶屋については町民が江戸時代の劇や物語性が分かるイベントの仕組みを仕掛けていく必要がある。観光地を素通りしなくなるためには、食べる場所と止まる場所（イベント）が無いと駄目になる。そういうものが茶屋にあると良いのではないかと。特に独特な食べ物屋があり、イベントと合わせて食事ができ、そこで学生の活動が行えるようにすることも良いと思う。

(町 長) 酒々井町には、有名なラーメン屋やケーキ屋等もあり、婚活に絡めて情報を配信できればと思う。

(3) その他

(事務局) 次回の策定委員会は10月頃を予定しております。

7. 閉 会